

公孫樹 (いちよう) 12月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

「最近気になること」～登下校時のマナー～

最近気になることがあります。

それは、行中生の「登下校時のマナー」です。特に下校時の徒歩通学者のマナーが気になります。道いっばいに広がって、おしゃべりをしながら歩いている。前から人が歩いてきても、おしゃべりに夢中で避けようとしません。道を歩く人の中には、お年寄りや体の不自由な方もいらっしゃるかもしれません。

前から人が歩いてきたら、どうすればよいのでしょうか？

どちらかが道を譲らなければならないとき、是非とも、若い皆さんから道を譲るようにしてもらいたいと思います。

話は変わりますが、江戸時代、当時世界で一番人口の多かった都市を知っていますか。それは、「江戸」の町です。人口が多く密集して住んでいた江戸の町では、皆が快適に過ごすために様々なマナーや工夫が生まれました。それが、「江戸しぐさ」です。道行く人が多い江戸の町では道を歩くとき、次のようなマナーが生まれました。



「傘かしげ」

雨の日に道ですれ違う際、お互いに傘を外側に傾け、相手が濡れないようにします。



「肩引き」

道で人とすれ違うとき、外側の肩を引き寄せて身体を斜めにしてすれ違います。

「七三の道」

道の真ん中を歩かず、端(はし)三割を歩いて、残り七割は他の人のために空けておきます。



いかがですか？

「江戸しぐさ」は、みんなが気持ちよく暮らすための知恵です。江戸の町の人たちは、こういう仕草を小さい頃から教わって自然と身につけていました。

「登下校時のマナー」について戻ります。前から人が歩いてきたら、若い皆さんから道を譲るようにしてください。そんなとき、地域の人に挨拶ができればさらによいですね。恥ずかしかったら、少しの会釈でもよいのです。そうすることによって、お互いが気持ちよく暮らすことができます。ささいなことですが、とっても大事なことです。そんな気持ちの良い行中生でありたいですね。



本校では、6月に日本PTA全国協議会「三行詩」コンクールに、学校に応募いただいた作品(生徒78、保護者37)を全て送りました。全国からは14万通の応募があったそうです。

このたびPTA全国協議会で優秀作品の発表があり、残念ながら本校からは入選作(中学生の部10、保護者の部8作品)は出ませんでした。応募作品の中から学校独自に「校長賞」、「PTA会長賞」を贈りたいと思います。ご協力ありがとうございました。



【生徒の部(校長賞)】

最優秀	分かってるよ 分かってるよ 本当に分かっているよ お母さん	山本 道晴
優秀	たった5文字がいつも言えない いろいろなことに感謝しているのに！ お母さん！ お父さん！ いつもありがとう	大久保 美花
	帰り道 家族5人が並ぶ時 道路に浮かぶその影を 見ているだけで 幸せだ	茨田 桂奈
	反抗期を楽しみにしているお母さん ごめんね お父さんにしか 湧かないの	飯塚 未莉
	朝起きて 明るい挨拶心がけ AAA(トリプルA)が合い言葉 (A) (A) (A)	和田 龍起
	「行ってらっしゃい」 朝ごはん お化粧 仕事前 大変な朝でも見送る母 今日も元気に「行って来ます！」	松田 雫

【保護者の部(PTA会長賞)】(敬称略)

最優秀	数学・・・難しくなってくるね でも 小さい時から「2」 で割る計算だけはできるよね ふたりで半分 双子の特技	山崎 洋子
優秀	息子と 久々 背比べ 股下 とうに抜かされて 背丈 勝っても 複雑だ	海野 潤
	いつも繋いでた 小さい手 今は 母より 大きい手	山崎 友美
	「大丈夫？気をつけてね」 小さい息子に口ぐせのように 言った言葉 今では息子に言われる自分	細沼 貴
	「腹減った」 寄って来るのは この時限り	藤野 和美
	乗せてって ママのタクシーの お代は 小声の「いってきます」	山崎 知美